

ボランティア養成研修

- 1 趣 旨 青少年教育施設の役割を理解するとともに、野外活動等の指導・支援ができるボランティア及び指導者の養成・確保を図る。
- 2 期 日 令和3年6月5日(土)～6日(日) 1泊2日
- 3 対象者 高校生・大学生(短大・専門学校生を含む) 一般
- 4 募集定員 40人程度
- 5 参加者 41人(一般2人, 大学生17人, 高校生22人)
- 6 指導者 福満 博隆氏(鹿児島大学共通教育センター准教授)
垂水消防署救急隊員
国立大隅青少年自然の家職員

7 日 程

6/5(土)		6/6(日)	
9:20	受付	6:00	起床・寝具整理・清掃
9:45	開講式	7:30	朝食
10:00	青少年教育施設における体験活動1.5時間	9:00	青少年教育施設におけるボランティア活動 2.0時間
11:30	昼食	11:30	昼食
12:30	青少年教育施設の現状と運営1.0時間	12:30	自然体験活動の安全管理3.0時間(普通救命講習Ⅰ)
13:40	ボランティア活動の意義1.5時間	15:40	閉講式
15:30	ボランティア活動の技術4.0時間(野外炊飯)	16:00	解散
20:30	入浴		
22:00	就寝		

8 事業運営上の配慮

- 事前に参加者に研修期間中の新型コロナウイルス感染対策等の協力依頼を行った。

9 参加者の感想

- 具体的な法人ボランティアの活動やその意義について知れて、よりボランティアへの意欲がわいた。
- 係の方々が活動前・活動中・活動後に声をかけてくださって、スムーズに活動することができました。
- 野外炊事で職員の方が的確に助言をしてくださいました。自身ができていないところをボランティア活動で指導するわけにはいかないので気を付けたいと思いました。
- ボランティアについていろいろな話が聞けて良かったです。今後の事業計画についても知れたので、出来るだけ参加させていただきたいと思いました。準備・実施ありがとうございました。
- 講習などもたくさんあって思っていたよりハードでしたが、適度に休憩も取らせてくださって、充実した2日間が送れました。

10 成果

- 青少年教育の基礎知識、救命講習、薪割り、危険予知トレーニング、火おこし、野外調理など、基礎を経験させることができた。
- 鹿児島大学、鹿屋体育大学をはじめ、大学生の参加者が17名と多く参加してもらったことが良かった。

